

山形県SDGs推進本部会議

日時：令和5年7月11日(火)11:00～
(直前の会議の終了時刻により前後)
会場：県庁502会議室

次 第

1 開 会

2 本部長あいさつ

3 議 事

本県におけるSDGsの推進について

4 閉 会

【配布資料】

資料1 持続可能な「やまがた」に向けて ～SDGs×山形～

資料2 SDGsに関連する主な取組み【令和5年度】



SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のあるよりよい社会の実現に向け、2015 (平成27) 年の国連サミットで採択された世界共通の目標で、2030年までに達成するべき17のゴールと169のターゲット、約230の指標例で構成。本県では、第4次山形県総合発展計画において、県づくりの基本方向として「県民一人ひとりの希望を実現して、真の豊かさ、生きがい・幸せを実感でき、持続的に発展する“新しいやまがた”の創造」を掲げており、これはSDGsの理念と合致するものであることから、計画に掲げる各種施策の推進を通して、SDGsの達成に貢献していく。

民間との協力及び本県の推進体制

OSDGsの推進に向けた共同宣言

(R2. 8月)

県、山形大学、山形新聞社の三者でSDGsの考え方にに基づき、人と自然との調和のもとで県民誰もが真の豊かさと幸せを実感できる山形県づくりを目指し、互いに連携して行動していくことを宣言

OSDGs推進本部の設置

(R3. 7月)

知事をトップに、全庁一丸となってSDGsの達成に向けた取組みを展開するため、推進本部を設置

今年度の取組み

県民のSDGsに対する更なる理解度向上を図るため、従来の取組みに加え、広く県民が参加できる催しや、メディアと連携した訴求力の高いプロモーションの展開により、普及啓発活動を強化する。

(1)今年度からの新たな取組み

OSDGs川柳の募集(第一生命保険株式会社との連携事業)

第一生命保険株式会社(本県は平成28年に、同社と包括連携協定を締結)と連携し、広く県民から「SDGs」をテーマとした川柳を募集。SDGsについて考える機会を創出することで、普及啓発を図る。

OSDGs県内メディアの温暖化防止キャンペーン「1.5℃の約束」への協賛

「1.5℃の約束」は、国連広報センターとメディアが共同で推進するキャンペーン(令和4年開始)。パリ協定で掲げられた、産業革命前からの気温上昇を「1.5℃」に抑える努力目標の達成に向け、積極的にメディア発信することとされている。

県内メディアのキャンペーンに協賛し、SDGsの普及啓発を図る。

OSDGs自治体職員向け研修の開催

SDGsの視点を踏まえた政策形成能力の向上を図るため、自治体職員を対象としたリスキリング研修を開催。

(2)昨年度から継続する取組み

OSDGs「やまがたSDGs推進ネットワーク」の開設(R2. 8月～)

SDGsの推進に向けた共同宣言に基づき、情報発信・交流の場となるプラットフォームとして、フェイスブック上に開設。(山形大学、山形新聞社が共同して管理運営)

OSDGs県HP「山形県におけるSDGsの推進について」による情報発信(R3. 8月～)

県HP「山形県におけるSDGsの推進について」を開設し、SDGsに関する各種情報を発信するとともに、啓発チラシを掲載。

OSDGs若者向け環境SDGsワークショップの開催(R2～)

民間企業や山形大学と連携し、高校生等を対象としたSDGs(環境分野)、地球温暖化、気候変動適応に関する環境学習会を開催。

OSDGs県職員による出前講座の実施(R3. 11月～)

各種団体における会議等において、SDGsに関する県職員の出前講座を実施。

OSDGs「やまがたSDGs推進月間」の設定(R4～)

本県独自に「やまがたSDGs推進月間」を設定し、期間中、官民が一体となって集中的に周知・広報等を行うことで、県民・県内事業者の主体的な行動を促し、県全体でSDGsの達成に向けた機運を醸成。

期間については、他の取組み等と十分に連携が図れるよう、SDGs週間*を含む1ヶ月間とする(9月15日(金)～10月15日(日))。

* 平成28年に、国連開発計画(UNDP)等によって設定されたSDGsの推進期間で、国連総会の会期にあわせて設定(令和5年は9月15日(金)～24日(日))



やまがたSDGs推進月間周知ポスターの掲示(県立図書館)



若者向け環境SDGsワークショップ

OSDGs「やまがたSDGs推進月間」における取組み内容



- 県庁・総合支庁、県関係施設をSDGsで彩る取組み 県庁・総合支庁ロビー等でのパネル展示、県庁舎階段への17ゴールロゴの貼付け等
- 県内事業者等と連携した取組み モンテディオ山形ホーム戦におけるSDGsブースでの啓発等
- 県民・県内事業者に対する集中的な情報発信 県SNS等での情報発信、市町村広報誌による告知(周知依頼)等



モンテディオ山形SDGsブースでの啓発

●：新規 ◎：拡充 ○：継続

1 貧困 貧困をなくそう

- 市町村のこども家庭センター設置・運営事業への助成等による子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化
- ひとり親家庭応援センターにおける市町村等関係機関と連携した総合的な相談・支援
- 山形県子ども生活実態調査の実施

2 飢餓 飢餓をゼロに

- 子ども食堂等に取り組む団体に対する運営支援や相談・支援体制の整備
- 就農準備・初期段階における新規就農者への資金や機械・施設等整備の支援等
- ◎「東北農林専門職大学(仮称)」の開学に向けた準備、校舎建設等
- 官民連携の「農作業受委託モデル」構築や経営継承の促進等

3 保健 すべての人に健康と福祉を

- 病院薬剤師不足の解消に向けた奨学金返還支援事業の実施【東北初】
- 「外国人介護人材支援センター」の設置【東北初】
- ◎オンライン診療に係るモデル事業の拡大
- ◎県民の「歩く習慣」の定着に向けたウォーキングプロジェクトの展開等

4 教育 質の高い教育をみんなに

- ◎就学支援金の給付、奨学のための給付金の一部対象者の給付額の増額
- 産業界・市町村等との連携やICTの活用等による魅力ある県立高校づくりの推進
- ◎大卒新採教員の育成支援【全国初】等による教職員の働き方改革
- 電子図書館(電子書籍サービス)にかかる調査研究

5 ジェンダー ジェンダー平等を實現しよう

- ◎男性の育児休業取得促進に向けた機運醸成、男性の家事・育児等の参画に関する講座の開催
- 男女共同参画ユースリーダー養成講座の開催
- ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進に資する本県独自の認定制度の創設
- ◎女性の賃金向上と県内定着促進のため、非正規雇用労働者の賃上げや正社員化等を支援

6 水・衛生 安全な水とトイレを世界中に

- 広域化による経営基盤強化のための庄内圏域水道基盤強化計画の策定
- 最上川などの公共用水域や地下水の水質汚濁状況のモニタリング等の実施
- 快適な生活環境確保のための流域下水道県内4処理区の処理場及び管渠の改築更新等の実施
- 「里の名水・やまがた百選」の情報発信やアドバイザー派遣等による保全活動の促進

7 エネルギー エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- 水素社会の実現に向けた戦略の策定及び水素エネルギーの導入促進
- ◎洋上風力発電導入に向けた協議の推進や同発電導入を見据えた酒田港整備
- ◎再生エネの地産地消や災害レジリエンス強化を目的とした家庭・事務所における再生エネ設備の導入に対する補助

8 経済成長と雇用 働きがいも経済成長も

- 本県産業の高付加価値化や新たなサービスの創出に向けたDXの推進
- ◎スタートアップステーション「ジョーブ」山形を核とした創業支援及び地域課題解決型ビジネスモデルの創出
- 再就職を希望する女性向けの産学官連携型就業支援インターンシップの実施【全国初】
- ◎就労継続支援B型事業所の工賃向上に向けた共同受注センター設置等の総合的な支援

9 インフラ、産業、イノベーション 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ◎「米沢トンネル(仮称)」の早期実現等に向けた沿線の活性化や利用拡大の取組みの推進
- 建設産業の人材確保に向けた事業者団体による取組みへの支援等
- 高速道路等の整備促進やICアクセス道路の事業推進
- 橋梁、舗装、トンネル等の長寿命化計画に基づく予防保全型維持管理などの実施

10 不平等 人や国の不平等をなくそう

- 社会参加の拡大に向けた特別支援学校における生徒の就労活動の充実
- 障がいによる差別解消と誰もが共に生きる社会の実現を目指す取組みの促進
- 国内外の若者等が参加する議論の機会創出によるグローバル人材の育成・交流促進
- ◎日本語ボランティアや日本語教育に関する専門的な人材の育成と活用の促進

11 持続可能な都市 住み続けられるまちづくりを

- 山形の未来をテーマにした高校生アイデアコンテストの開催、幸せ暮らしの情報発信等
- 快適に長く暮らすことができる住宅の新築やリフォーム等への支援
- ◎田んぼダムの貯留機能向上による災害時の浸水被害リスクの低減
- 災害に強い強靱な県土づくりに向けた防災・減災、国土強靱化対策の実施

12 持続可能な生産と消費 つくる責任 つかう責任

- 「もったいない山形協力店」食べきり運動の実施
- ◎廃棄物の排出抑制及びリサイクル推進のための整備に対する補助
- リサイクル製品の認定及びリサイクルシステムの認証
- やまがた環境展の開催等による3Rを推進する人材の育成

13 気候変動 気候変動に具体的な対策を

- ◎「ゼロカーボンやまがた 2050」実現に向けた県民運動の推進
- 高断熱・高気密住宅と再生エネ設備導入に対するパッケージ補助等住宅の脱炭素化への支援
- 学生環境ボランティア人材の育成及び出前授業やイベントでの普及啓発活動の実施
- 若者向け環境SDGsワークショップの開催

14 海洋資源 海の豊かさを守ろう

- ボランティア等による海岸漂着物や河川ごみ等の回収と発生抑制の啓発
- 海岸漂着物の発生抑制対策をより効果的に実施するための漂着物組成調査の実施
- アワビ等資源状態が悪化している栽培漁業対象種の放流への支援
- 岸壁及び防波堤の耐震・耐津波機能の強化、水産環境整備による漁場環境の改善

15 陸上資源 陸の豊かさも守ろう

- 荒廃農地等の有効活用や粗放的利用による農地の維持に意欲的な地域への支援
- 森林ノミクスの加速化や脱炭素社会の構築に向けた森林吸収源対策の強化
- 「山の日」や「樹水」に対する県民の理解を深める普及啓発の推進
- みどり環境税を活用した市町村、地域住民、NPO等による森づくり活動等への支援

16 平和 平和と公正をすべての人に

- 若年者による若年者のための消費者教育(啓発イベント)の実施
- AI機能一体型の児童相談所業務支援システムによる児童虐待対応の強化
- 「やまがた性暴力被害者サポートセンター(ペにサボやまがた)」の運営
- サイバー犯罪捜査官の捜査能力向上、捜査用資機材の整備

17 実施手段 パートナリシップで目標を達成しよう

- ◎産学官金で組織されたコンソーシアムとの連携による、県内各分野のデジタル化に向けた普及啓発、人材育成及びデータ利活用の促進
- 「やまがた社会貢献基金」を活用したNPO等の社会貢献活動の支援
- 行政保有の統計情報等のオープンデータ利活用の促進



➢ SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年に国連で採択され、世界が合意した17の「持続可能な開発目標」

➢ 第4次山形県総合発展計画の基本目標の考え方は、SDGsの理念と軌を一にするものであり、同計画を推進することにより、SDGs実現に貢献していく